

強歩会

R2.6.4(木)



里だより

No.342

令和2年7月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



散髪ボランティア

R2.5.25(月)

約2ヶ月ぶりに
サッパリ★



決算報告(計算書類)……………8



入職者あいさつ・
ありがとうございました・
編集後記……………7

行事予定……………6

サービス向上委員会より・
行事報告……………5

職員より・調理場より……………4

主任より……………3

サビ管より……………2

副施設長より……………1

(ページ)

七月号もくじ



つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



副施設長より

和顔施（わがんせ）



一年間の寄稿予定を組みますが、なかなか思い通りにいきません。今回もコロナ寄りです。ご了承ください。

沖縄は梅雨明けしたとの知らせが届きましたが、こちらはまだまだ雨空が長引きそうですね。普段なら早く梅雨明けを期待する時期ですが、今年は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除のニュースの方が嬉しく感じます。

つくしの里では六月より段階的に規制を緩和し、一番喜ばれているのは、やはり利用者さんです。先日は、心待ちにしていた外泊の際、喜びを体いっぱい表現し、ご家族の車に乗りこまれた姿を拝見しました。「行ってきます。」と満面の笑みで手を振られると、こちらも目元が緩みます。利用者さんから嬉しさを分けてもらった気分です。

二月に参加した研修会で講演いただいたご住職が「和顔施」の話を読んだことを思い出しました。仏教の「無財の七施」の一つで、人に笑顔を施すことです。新型コロナウイルス感染予防対策中に、私たちより不自由な生活だった利用者さんの笑顔に助けられたのは、紛れもなく私たち職員です。戴いた以上の笑顔をお返ししたいと思います。

緊急事態宣言中を振り返ってみますと、メディアは新型コロナウイルスの話ばかりで不安を煽り、不要不急の外出自粛が続く

と、どうしても視野が狭くなりがちで、塞ぎ気味になってしまいました。そういう時に利用者さんに普段と同じ姿勢で接したり、新しい楽しみを創造してくれる職員は、安心感をもたらしてくれました。きっと視点が自分自身に向かっているのではなく、人のことを思って外に向かっているのだろうと感じました。羨ましい才能です。

七月からは、集団にならないよう配慮しながらボランティアの受け入れを開始し、外出も利用者さん及び職員含め六名以内から行います。ウイルスは無くなる事はないとの報道もあり、ワクチンや薬が開発されるまでは気を抜けない状況にありますが、新しい生活様式を取り入れ、利用者さんの生活の質を確保していきたいと思えます。

すでに、職員からは利用者さんに楽しんでもらうためのアイデアがちらほら始めています。「三密を避けるための外出先は…」 「あのお店のあの料理もテイクアウトできるらしい」等々、大変だけど、その大変さも楽しさや嬉しさに変わることを信じて。また、お互いが笑顔でいられるように、あれやこれや模索中です。

ひとつ前の朝ドラ「スカレット」で、悩んだ陶芸家の主人公に友人がこんな言葉をかけます。

「芸術以外で人の人生を豊かにするものは何や？人を思うことや。誰かの人生を思うことで自分の人生も豊かになるんやで。」と。新しい生活様式を制限とは捉えず、それに沿って、これから利用者さんの人生の中で必要となるものを思うことができる、利用者さんにも、自分自身にも笑顔を向けられるのでしょうか。

副施設長 松永一博

サビ管より

防災訓練において

県内では新型コロナウイルスが一先ず落ち着いたかのように感じてしまいましたが、全国的には第二波となるような新たな感染も見られ、まだまだ油断できない状況にあります。当施設でも予防対策は継続し、「新しい生活様式」に準じた新たな対策に切り替え、慎重に対応を進めているところです。

さて、当施設では、感染症対策と同様に、防災対策にも月一回の訓練を中心に力を入れております。休日や夜間においても、よりベストな対応がとれるよう、様々な災害を想定した訓練を実施しています。

今回は六月の防災訓練について、ご紹介したいと思います。

当施設の防災機器を管理していただいているアルパテック様のご協力の下、スプリンクラーや火災報知器、非常放送設備等、そのシステムや取扱いについてご説明いただく機会を設定しました。

館内にある防災機器が、どのような状況で作動し、どのようなシステムとなっているのか説明があり、イメージを共有しながら確認することができました。事業所内でも正しい取扱いの理解や確認を年一回は実施しておりますが、日常的に操作するものではなく、いざという時には冷静な判断がつきにくくなります。各個人の理解を深めていくためにも、他職員と話し合い、意思疎通が



図られる機会が大切なることを改めて感じることができました。その時々々の臨機応変な対応も、正しい理解があつてのことと考へ、今後も施設全体で取り組むことに力を入れ、ひとりで対応するのではなく、他職員と連動し、チーム力としての効果を求めていきたいと思えます。

支援課長 今田 有哉



主任より

新生活様式



小学校で隣に座っている同級生が消しゴムを落としても、拾ってあげずに「落ちたよ」と声を掛けるように。と教師が児童に説明している報道を見た方もいらっしゃると思います。新型コロナウイルス感染症予防の一つですが、新生活様式においては「めくばり・きくばり・おもいやり」の今まで当たり前だった行動も自粛しないといけないと思うと少し寂しいと感じます。そして、小学校低学年の児童がそれが当たり前だと思つて成長して欲しくなくとも思います。早くワクチンが開発され、以前の生活に戻る事を願うばかりです。

新生活様式に向けて様々な企業が夏用のマスク開発に精を出しているのを報道で目にします。「えっ!」と思つたのが、アルミ製のマスクでした。アルミは熱を逃がす働きがあるそうで、マスクに最適とのこと。さすが物作り日本ですね。

つくしの里では予定していた行事を縮小して実施する事となりました。その中でも職員は「利用者さんが楽しめる事」と日々考えています。

生活介護班五班では一泊旅行について考えている所ですが、県を跨がずに、いかに利用者さんの希望に添えられるかを試行錯誤中です。上手く形にして楽しんで頂きたいと思ひます。旅行の内容は決まり次第「里だより」でお知らせ致します。

主任支援員 和田 貴志

世間の波

新型コロナウイルスで話題豊富な世の中ですが、人材確保もまたその波にのまれていきます。

学生さんと直接触れ合える就職フェアがことごとく中止となり、どうしよう…と慌てふためいたこの数ヶ月。三月のフェアはとても大切で、この時期を逃してしまおうと手遅れ…といつても過言ではない程その後の内定が出しにくい状況になります。

焦りばかりが募り、時間だけが過ぎていきました。

しかし、学生さんの就活は止まってはいません。私たちもその手を止めることなく、世間の流れを観察し、波に乗り遅れないよう、この度初めてのWebセミナーに踏み切ることにしました。

Webセミナーとは、学生さんが自宅でインターネットを使用して私たちの動画配信を見えるという、三密を完璧に避けられる手段です。直接の会話こそ出来ませんが、学生さんが知りたい情報を動画に込めています。

動画は約十分。つくしの里の三年目までの職員で作成しました。自分たちの就活時代を思い出し、より学生に近い目線で一生懸命取り組んでくれました。

今回資料を作成した職員、カメラの前で原稿を読んだ職員、その間も現場で支援していた職員、全員で作り上げた動画だと思っています。

今回は感染症対策での急な対応でしたが、今後も時代は変化していきます。常に最新情報を仕入れ、世間の波に遅れないよう、しがみついていきたいと思ひます。

主任事務員 高本 智美

職員より

先日強歩会が行われました。利用者さんはもちろん、自分にとっても強歩会は楽しみにしている行事の1つでしたが、とても残念なことに当日は休みでした…。しかも数日前からの雨の予報が一転、当日は曇り空だったようで。“雨男”がいなかったことで天気も味方についていたのでしょうか？（自分がいたらきっと豪雨になっていたかも…）

今回の強歩会では、例年最長距離（約4～5キロ程度）を歩かれていた方数名が途中でリタイアされたという事を聞きビックリしました。強歩会では距離に応じてグループごとに歩くのですが、以前私が強歩会の担当だった際は一番長いAグループでしっかりと歩かれていました。数年前までとても元気だったのに、歩くペースや速さなどを見ると「体力が落ちたな」と感じます。日中の活動でも強歩を取り入れています、ここ最近の新型コロナウイルスで日常生活が制限されている中、運動できることに感謝しつつ改めてしっかりと取り組まねばと感じた次第です。

一方で、自分自身も“体力低下”に繋がらないよう、日頃から体調管理や運動にしっかりと努めていく必要がある事を改めて感じました。メタボリック…にも注意します！

（支援員 北島）

今回の新型コロナウイルスによる施設内の対策として、3月中旬より在宅の方は別棟での活動でした。初めの内は閉鎖的空間で過ごす事や、環境の変化により活動に集中出来ない方がいる一方で、少人数しかいない空間での活動が向いている利用者の方もおられました。普段の活動では見えてこなかった事に気付く事が出来てよかったと思います。

私事ですが、昨年度より食事量の調整や運動を継続し、今回の健康診断では前回の測定時よりも8kg減量する事が出来ました。標準体重に近付くには、まだまだ時間が掛かりそうですが…今後も継続します。

（支援員 井）

調理場より

6月の給食会議では、利用者さんと「手洗い・うがい」の練習をしました。手洗いは、掌に「ばい菌マーク」のスタンプを押し、30秒かけて丁寧にしっかりと洗い落としました。うがいは、「ガラガラとブクブク」を練習しました。どちらもみなさん真剣に取り組まれましたよ。

また、毎月給食会議時にみなさんの食べたいものをお聞きするのですが、今回は「楽しみにしていること・楽しかったこと」をお聞きしました。利用者さんからは「牛乳パックちぎりを頑張った」「カラオケが楽しかった」「ミッキーマウスのブロックが楽しい」等、職員からは「ストレッチで体が柔らかくなった」「テレビを買う予定」「おばあちゃんと話すこと」等々、みなさんからハッピーを分けいただきました。

まだまだ元の生活には戻れませんが、利用者さんや職員みんなで楽しく元気に頑張ります。

（管理栄養士 奈須）



サービス向上委員会より

■ 食事・口腔衛生【主任支援員 中尾・支援員 益田・錦戸・山下】

利用者さんが大好きな食事や口腔ケアについて、4人のメンバーで取り組んでいます。専門的な知識が必要な為、看護師や栄養士だけでなく、長野歯科様や熊本セントラル病院様のご指導の下、改善や提案をします。

昨年度は食事形態の改善として、パン食の見直しを行いました。①常食②パン粥③お粥と個々にあった食事形態を提案し、より安全に美味しく利用者の方に食事を提供する工夫をしています。

しかし、美味しく食事を食べるだけではありません。その後の口腔ケアも健康の為には欠かせません。長野歯科様より一人ひとりに合った歯ブラシ・歯磨き粉・ブラッシング方法をご指導頂きました。個人に合ったケアを行う事で、虫歯予防だけでなく、肺炎などのリスクを減らす事もできます。

今年度も食事支援や口腔ケアの改善を中心に取り組んでいきます。ご家族の方も、食事や口腔ケアに関して疑問点等ありましたら、面談時や外泊時にでもお知らせ下さい。

行事報告 ※ 5/21 (木) ~6/20 (土) の実施分について報告いたします

★ 映学会【5月31日(日) つくしの里】

3ヶ所に分けて上映しました。特に反響が大きかったのが、スクリーンを使用した『ダンス・ウィズ・ミー』です。声を出して笑われたり、一緒に踊ったりと、皆さんとても楽しまれた様子でした。特に拘ったのは、プロジェクターとスピーカーを使い、映画館の雰囲気近付けた事です。

その他は『男はつらいよ』と『天気の子』を上映しました。好みの映画を熱心に鑑賞されていましたよ。利用者さんから「また見たい」との声もありましたので、実施したいと思います。
(主任支援員 平田)

★ 生活介護班⑤班外出【6月2日(火) グループホームつくしんぼ】

新型コロナウイルスの影響で、しばらく外出ができていませんでしたが、近場のグループホームでBBQをしました。もちろん食べるだけではありません。自分達が食べる分は自分達で切り、外にはテントを張り、一人ひとり役割を持って、きちんと働いた後においしく頂きました。お肉は牛肉・鶏肉・豚肉・ウインナー。野菜はナス・キャベツ・ピーマン。その他にも、焼きそばにフルーツと盛りだくさん！沢山の種類から選べ、みなさん満腹感を訴えられていました。利用者さんもなかなか外泊や外出ができず、窮屈に感じられていた中で、良い気分転換になり良かったと思います。
(支援員 村上カ)



★ 強歩会【6月4日（木）矢護川公園・御所原公園】

新型コロナウイルスの影響で熊本県下でも不要不急の外出自粛が求められ、開催自体が危ぶまれていましたが、今回、天候にも恵まれ、無事に実施する事が出来ました。

今年は今までの昭和園から行き先を変更し、①矢護川公園 ②御所原公園 ③つくしの里中庭の3コースに分かれ、利用者お一人おひとりが無理なく自分のペースで参加頂けるよう設定致しました。

普段関わる機会の少ない他班の利用者さん同士が手を取り合い、励まし合いながらゴールを目指している姿にホッコリしました。久しぶりの外出を楽しまれたようで、終了後に利用者の方から「楽しかった」「ありがとう」と感謝の言葉も頂き、嬉しく思いました。

（支援員 外山）



行事予定

☆ 通帳確認・面談（つくしの里）

期 日：7月1日（水）～7月10日（金）

内 容：感染症予防のため、施設に入る際は検温と手指消毒をお願いします。

☆ バイキング昼食会（つくしの里）

期 日：7月7日（火）

内 容：大好評のカレーバイキングです。トッピングも様々！

その他にも素麺・たこ焼き・デザートとたくさんありますよ。お楽しみに！！

☆ 生活介護①班外出（つくしの里）

期 日：7月30日（木）

内 容：全員での外出が難しいので、豪華なお弁当を注文して施設内で食べようと思います。



入職者あいさつ

六月一日付で二名の職員が入職いたしました。この場をお借りして、ご挨拶申し上げます。

○坂口 文雄【パート支援員】

(生活介護班②班)

こんにちは！初めまして。坂口文雄と申します。この度ご縁があり入職致しました。出身は熊本市で、演歌歌手の水前寺清子さんとは小学校の同級生です。趣味は多々ありますが、現在は全て自粛しております。

次男が生まれながらの難病を持っていますので、少しでも利用者の方に寄り添える様頑張ります。前職は老人ホームに勤務していました。多々ご迷惑をおかけしますが宜しくお願いします。

○坂梨 このみ【環境パート】

環境整備で働くことになりました坂梨です。何も分からない状態ですが、頑張っていきたいと思えます。

よろしく願います。

ありがとうございます

ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和二年五月二十一日～

令和二年六月二十日です

【シヨートステイ・

日中一時支援事業のご利用】

(八名 延べ 五十二日)

※五月三十一日までシヨートステイの受け入れは中止させていただきました。

【寄付・寄贈】

・岩根 治美 様 ・江頭 勝 様

・大島 照雄 様 ・後藤 弘子 様

・田上 涼子 様 ・西村 美智恵 様

・山口 静美 様 ・山本 清隆 様

・渡辺 昭子 様 ・合志 あつ子 様

・三池 夏子 様 ・今田 有哉 様

・川上 信代 様

・つくしの里保護者会 様

・つくしの里職員互助会 様

【ボランティア】

・村里 和弘 様



誠にありがとうございます。
利用者さんの為に使用させて頂きます。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

編集後記

いつの間にか令和二年も半年を過ぎました。年が明けてすぐは、こんな世の中になるとは思ってもおらず、何不自由なく普段通りの毎日を過ごし、むしろ刺激や変化を求めているような気がします。今では何でも制限され、改めて「日常」や「普通」のありがたみを感じています。

ようやくつくしの里も外部との関わりが増えてきました。利用者さんが外へ出られた後の嬉しそうな顔や、ご家族がいらっしやった時の笑顔を見られるだけで、幸せな気持ちになります。

早く日常が戻って、班全員で外出したいですね。

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

法人単位貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

| | 資産の部 | | | 負債の部 | | |
|-----------|---------------|---------------|-------------|---------------|---------------|-------------|
| | 当年度末 | 前年度末 | 増減 | 当年度末 | 前年度末 | 増減 |
| 流動資産 | 223,860,989 | 272,284,793 | -48,423,804 | 44,171,968 | 45,502,622 | -1,330,654 |
| 現金預金 | 151,036,058 | 202,915,731 | -51,879,673 | 13,087,932 | 14,615,581 | -1,527,649 |
| 事業未収金 | 71,773,087 | 68,751,219 | 3,021,868 | 609,120 | 609,120 | 0 |
| 立替金 | 50,000 | 83,500 | -33,500 | 7,747 | 42,644 | -34,897 |
| 前払費用 | 1,001,844 | 534,343 | 467,501 | 6,595,510 | 8,138,829 | -1,543,319 |
| | | | | 38,659 | 38,448 | 211 |
| | | | | 23,483,000 | 21,818,000 | 1,665,000 |
| | | | | 350,000 | 240,000 | 110,000 |
| 固定資産 | 886,720,356 | 820,046,785 | 66,673,571 | 23,575,022 | 23,317,927 | 257,095 |
| 基本財産 | 481,474,394 | 380,758,850 | 100,715,544 | 253,800 | 913,680 | -659,880 |
| 土地 | 73,133,245 | 73,133,245 | 0 | 23,321,222 | 22,404,247 | 916,975 |
| 建物 | 408,341,149 | 307,625,605 | 100,715,544 | 67,746,990 | 68,820,549 | -1,073,559 |
| その他の固定資産 | 405,245,962 | 439,287,935 | -34,041,973 | | | |
| | | | | 純資産の部 | | |
| 建物 | 2,136,973 | 2,040,582 | 96,391 | 212,872,499 | 212,872,499 | 0 |
| 構築物 | 30,676,537 | 31,160,354 | -483,817 | 113,727,107 | 122,944,882 | -9,217,775 |
| 機械及び装置 | 3,614,854 | 4,129,764 | -514,910 | 327,313,832 | 357,313,832 | -30,000,000 |
| 車輜運搬用具 | 8,811,243 | 9,417,208 | -605,965 | 35,559,832 | 35,559,832 | 0 |
| 器具及び備品 | 7,879,677 | 10,028,711 | -2,149,034 | 73,500,000 | 73,500,000 | 0 |
| 建設仮勘定 | 862,920 | 313,000 | -549,920 | 68,700,000 | 68,700,000 | 0 |
| 有形リース資産 | 628,704 | 1,472,040 | -843,336 | 16,200,000 | 16,200,000 | 0 |
| 権利 | | 1,008,197 | -379,493 | 133,354,000 | 163,354,000 | -30,000,000 |
| ソフトウェア | | 0 | 0 | 388,920,917 | 330,379,816 | 58,541,101 |
| 退職給付引当資産 | 23,321,222 | 22,404,247 | 916,975 | 28,541,101 | 31,460,796 | -2,919,695 |
| 移行時特別積立資産 | 35,559,832 | 35,559,832 | 0 | | | |
| 人件費積立資産 | 73,500,000 | 73,500,000 | 0 | | | |
| 修繕費積立資産 | 68,700,000 | 68,700,000 | 0 | | | |
| 備品等購入積立資産 | 16,200,000 | 16,200,000 | 0 | | | |
| 建設積立資産 | 133,354,000 | 163,354,000 | -30,000,000 | 1,042,834,355 | 1,023,511,029 | 19,323,326 |
| 資産の部合計 | 1,110,581,345 | 1,092,331,578 | 18,249,767 | 1,110,581,345 | 1,092,331,578 | 18,249,767 |

第一号第一様式 (第十七条第四項関係)

法人単位資金収支計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

(単位：円)

| 勘定科目 | 予算(A) | 決算(B) | 差異(A)-(B) | 備考 |
|---|--------------|--------------|-------------|----|
| 障害福祉サービス等事業収入 | 445,746,000 | 448,141,421 | -2,395,421 | |
| 経常経費寄附金収入 | 5,360,000 | 5,381,060 | -21,060 | |
| 受取利息配当金収入 | 53,000 | 41,670 | 11,330 | |
| その他の収入 | 4,196,000 | 4,446,470 | -250,470 | |
| 事業活動収入計(1) | 455,355,000 | 458,010,621 | -2,655,621 | |
| 人件費支出 | 307,266,000 | 304,550,239 | 2,715,761 | |
| 事業費支出 | 54,798,000 | 51,560,676 | 3,237,324 | |
| 事務費支出 | 50,108,000 | 48,842,927 | 1,265,073 | |
| その他の支出 | 2,732,000 | 2,723,904 | 8,096 | |
| 事業活動支出計(2) | 414,904,000 | 407,677,746 | 7,226,254 | |
| 事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2) | 40,451,000 | 50,332,875 | -9,881,875 | |
| 収 入 | 0 | 0 | 0 | |
| 施設整備等収入計(4) | 0 | 0 | 0 | |
| 固定資産取得支出 | 124,395,000 | 124,074,170 | 320,830 | |
| ファイナンス・リース債務の返済支出 | 660,000 | 659,880 | 120 | |
| 施設整備等支出計(5) | 125,055,000 | 124,734,050 | 320,950 | |
| 施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5) | -125,055,000 | -124,734,050 | -320,950 | |
| 収 入 | 30,000,000 | 31,706,455 | -1,706,455 | |
| 積立資産取崩収入 | 30,000,000 | 31,706,455 | -1,706,455 | |
| その他の活動収入計(7) | 3,410,000 | 2,623,430 | 786,570 | |
| 積立資産支出 | 3,410,000 | 2,623,430 | 786,570 | |
| その他の活動支出計(8) | 3,410,000 | 2,623,430 | 786,570 | |
| その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8) | 26,590,000 | 29,083,025 | -2,493,025 | |
| 予備費支出(10) | 2,400,000 | 2,400,000 | 0 | |
| 当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10) | -60,414,000 | -45,318,150 | -15,095,850 | |
| 前期末支払資金残高(12) | 249,449,291 | 249,449,291 | 0 | |
| 当期末支払資金残高(11) + (12) | 189,035,291 | 204,131,141 | -15,095,850 | |

第二号第一様式 (第二十三条第四項関係)
法人単位事業活動計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

| 勘定科目 | | 当年度決算(A) | 前年度決算(B) | 増減(A)-(B) | |
|--|------------------------------|---------------------|-------------|-------------|------------|
| サービス活動増減の部 | 障害福祉サービス等事業収益 | 448,141,421 | 441,980,851 | 6,160,570 | |
| | 経常経費高附金収益 | 5,381,060 | 1,979,195 | 3,401,865 | |
| | サービス活動収益計(1) | 453,522,481 | 443,960,046 | 9,562,435 | |
| | 人件費 | 307,242,214 | 301,208,493 | 6,033,721 | |
| | 事業費 | 51,560,676 | 51,246,345 | 314,331 | |
| | 事務費 | 48,842,927 | 47,161,711 | 1,681,216 | |
| | 減価償却費 | 23,598,281 | 26,469,824 | -2,871,543 | |
| | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | -5,691,526 | -8,795,952 | 3,104,426 | |
| | サービス活動費用計(2) | 425,552,572 | 417,290,421 | 8,262,151 | |
| | サービス活動増減差額(3) = (1) - (2) | 27,969,909 | 26,669,625 | 1,300,284 | |
| サービス活動外増減の部 | 受取利息配当金収益 | 41,670 | 44,605 | -2,935 | |
| | その他のサービス活動外収益 | 4,446,470 | 7,528,027 | -3,081,557 | |
| | サービス活動外収益計(4) | 4,488,140 | 7,572,632 | -3,084,492 | |
| | その他のサービス活動外費用 | 2,723,904 | 2,781,460 | -57,556 | |
| | サービス活動外費用計(5) | 2,723,904 | 2,781,460 | -57,556 | |
| | サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5) | 1,764,236 | 4,791,172 | -3,026,936 | |
| | 経常増減差額(7) = (3) + (6) | 29,734,145 | 31,460,797 | -1,726,652 | |
| | 収特別収益計(8) | 0 | 0 | 0 | |
| | 特別増減の部 | 固定資産売却損・処分損 | 4,719,293 | 1 | 4,719,292 |
| | | 国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等) | -3,526,249 | | -3,526,249 |
| 国庫補助金等特別積立金積立額 | | 0 | | 0 | |
| 特別費用計(9) | | 1,193,044 | 1 | 1,193,043 | |
| 特別増減差額(10) = (8) - (9) | -1,193,044 | -1 | -1,193,043 | | |
| 当期活動増減差額(11) = (7) + (10) | 28,541,101 | 31,460,796 | -2,919,695 | | |
| 繰越活動増減差額の部 | 前期繰越活動増減差額(12) | 330,379,816 | 318,919,020 | 11,460,796 | |
| | 当期繰越活動増減差額(13) = (11) + (12) | 358,920,917 | 350,379,816 | 8,541,101 | |
| | 基本金取崩額(14) | 0 | 0 | 0 | |
| | その他の積立金取崩額(15) | 30,000,000 | 0 | 30,000,000 | |
| | その他の積立金積立額(16) | 0 | 20,000,000 | -20,000,000 | |
| 次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16) | 388,920,917 | 330,379,816 | 58,541,101 | | |

(単位:円)